

臨床研究名: 胸膜浸潤を有する小型肺癌に対する縮小手術の予後及び再発形式に関する研究

岡山労災病院では、以下の研究を行っています。
当研究では、患者さんからのカルテデータ使用についての同意がなかったものについては使用していません。
また同意した後に同意撤回することも可能です。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。

| | |
|----------------|--|
| 研究題名 | 胸膜浸潤を有する小型肺癌に対する縮小手術の予後及び再発形式に関する研究 |
| 対象患者 | 2012年1月1日～2023年12月31日の間に岡山労災病院において肺癌手術を受けられた方約40名を研究対象とします。 |
| 研究目的及び内容 | <p>肺癌の中には、一部で肺表面の膜までがんが進展している、「胸膜浸潤(きょうまくしんじゅん)」と呼ばれる状態を呈するものがあります。胸膜浸潤がある場合は、ない場合と比べると予後が悪いと考えられています。手術の前に胸膜浸潤があるかどうかを正確に判定することは難しく、手術でがんを切除した後に病理の検査(切除した肺の組織を調べること)で初めて分かることが多いです。</p> <p>近年は小さな肺癌に対して、肺の機能をできるだけ残す方法として「区域切除」が広く行われていますが、胸膜浸潤を伴う肺癌において、この手術が予後に与える影響については、まだ十分に明らかになっていません。</p> <p>そこでこの研究では、この肺癌に対して手術を受けた患者さんの診療記録をもとに、「区域切除」と、より広い範囲を切除する「肺葉切除」とを比較して、治療後の経過(生存期間、再発の頻度、再発形式など)に違いがあるかどうかを調べます。複数の医療機関からデータを集めて検討することで、将来のよりよい治療方針につなげることを目的としています。</p> |
| 使用する患者情報等 | <p>この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本情報: 年齢、性別、病歴、身長、体重、PS(全身状態指標)、既往歴、内服薬・検査結果: 血液検査、画像検査(CT・MRI・PET)・病理情報: 腫瘍の種類、病期、化学療法や放射線療法の有無および内容、有害事象・経過情報: 術式、術後の病理診断や経過、再発の有無・時期・部位、再発後の治療内容、生存状況や死因 |
| 研究担当者 | 所属・職名: 外科 医師 氏名: 葉山 牧夫 |
| 研究分担者 | 共同研究所属: 岡山大学病院など 共同研究者: 豊岡伸一ら |
| 研究期間 | 研究機関の長の許可日 ~ 2028年 3月31日 |
| 研究区分 | <input type="checkbox"/> 臨床研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究 ・ <input type="checkbox"/> その他 |
| 倫理審査の有無 | <input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (決済日: 2026年 1月 22日 承認No.583) |
| 利益相反の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (決済日: 年 月 日 承認No.) |
| 医薬品や物品の提供 | <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名称: 年 月 日) |
| 学会発表・論文投稿 | <input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (公開する結果は統計的な処理をしたもののみ) |
| 問い合わせ先 相談窓口 | 所属: 外科 氏名: 葉山 牧夫 TEL: 086-262-0131(代) FAX: 086-262-3391 |
| 備考 | |